

しあわせ祈願の宮 本莊神社由緒略記

ご祭神

素盞鳴尊

由緒

当社の創祀は、今から千年前に遡ります。平安時代、第六十六代一条天皇の御代の長徳年間（九九五〜九九九）と伝えられています。『美濃国神名帳』によると美濃国厚見郡十八社の内に「正六位上楡賀保明神」と称えられ、また古来「天王社」とも称せられて親しまれ、地域の氏神さまとして尊崇をあつめた古社であります。

元々の鎮座地は、現在の三キロ東北東の場所に鎮座していたと云い、慶長四年（一五九九）に岐阜城での戦いに際して織田信雄により現在地へ遷されたことされ、江戸時代に本莊神社と改称し今日に至っています。明治六年（一八七三）に、宇佐・清・六條・本莊の四ヶ村の総氏神として「郷社」に列せられました。

戦前の神社は内務省の所管でしたが、終戦後「神道指令」により国家管理を離れ、神社本庁包括下の宗教法人となりました。昭和五十四年九月一日に岐阜県神社庁支部長参向指定神社（銀幣社）となり、毎年九月に岐阜市支部長を献幣使に迎え奉幣祭が斎行されます。

本莊神社の年中行事

一月	一日	午前十時	歳旦祭・四方拝
一月	十四日	正午	左義長神事
二月	十七日	午前十時	祈年祭
四月	五日	午前十時	例祭（春季大祭）
七月	第一土曜日	夕刻	夏越祭（茅の輪くぐり）
九月	最終日曜日	午前十時	奉幣祭（秋季大祭）
十一月	二十三日	午前十時	新嘗祭
毎月	第一土曜日	午前十時	月次祭

月次祭後、「学べる神社講座」を開講
 ※月次祭限定「結縁守」
 （月次祭の当日午前中のみ授与）
 祭典日限定 御朱印授与



特殊神饌 鱗餅



結縁守



祭典写真



例祭



鱗餅の奉納



巫女舞奉納



夏越祭

- ・茅の輪くぐり
- ・巫女舞奉納
- ・行灯奉納
- ・模擬店出店



奉幣祭
（銀幣の奉納）



銀幣



左義長神事



しあわせ祈願の宮
本莊神社

岐阜県岐阜市敷島町9-24

ホームページ・Facebookで情報発信中

平成21年9月 初版 発行
 令和2年3月 第4版発行